

第 8 回 都医学研シンポジウム「スポーツ脳科学の創成」

2020 年オリンピック・パラリンピックが再び東京で開催されることが決定し、日本国民のスポーツに対する興味はこれまでにない高まりを見せている。従来の「スポーツ科学」では、優れたスポーツ選手が持つ身体的特徴、筋出力特性、エネルギー供給能力、技の特徴の抽出に主眼が置かれ、大きな成果を挙げてきた。しかし、そのパフォーマンスを決定づけるのはこうした身体特性だけとは限らない。アスリートは、例えば、常人が持ち合わせない鋭敏な感覚、的確な状況判断による予測に基づいた意思決定能力、精密な運動制御能力、不屈の闘志、コーチ・チームメイトとの社会性など優れた脳機能を有していると考えられる。このように、高度なスポーツパフォーマンスの源を辿れば「スポーツの主役は脳」といっても過言ではない。本シンポジウムでは、脳科学の観点から身体運動・スポーツをいかに理解可能かということに焦点を当てる。

- ・ 日程：2018 年 11 月 30 日（金）13 時 00 分～16 時 00 分 開場 12 時 30 分
- ・ 会場：ベルサール神保町アネックス
東京都千代田区神田神保町 2-36-1
住友不動産千代田ファーストウイング 1F
- ・ 講演予定者：（順不同、敬称略）
荒牧勇（中京大学）
柏野牧夫（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
彼末一之（早稲田大学）
征矢英昭（筑波大学）
中澤公孝（東京大学）
西村幸男（医学研）
- ・ 参加費：無料
- ・ 申込方法：<http://www.igakuken.or.jp/neuroprosth/>
- ・ 締切：先着 200 名様
- ・ 連絡先：（公財）東京都医学総合研究所 都医学研シンポジウム事務局
電話 03-5316-3109（直通）